

県外企業の皆さま！

企業版ふるさと納税で 岐阜県を応援してください



企業版ふるさと納税は、国の認定を受けた岐阜県の地方創生プロジェクトに対して企業の皆さまが寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる制度です。

企業版ふるさと納税のメリット

その1

『寄附』の形で御社の社会貢献活動が見える化！
情報発信により更なるイメージアップにつながります！

- 社会貢献に取り組む企業としてのPR効果が期待できます。
- 県のホームページで、寄附をいただいた企業をご紹介(同意があった場合のみ)させていただきます。

その2

寄附額の最大約9割に相当する税額が軽減されます！

※軽減割合は、企業の所得状況等によって異なります。詳しくは、税理士の方や所轄の税務署にお問い合わせください。

損金算入
約3割

税額控除
6割

法人住民税+法人税 4割
法人事業税 2割

企業負担
約1割

(例)1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減されます！

企業版
ふるさと納税の
主な要件

- 岐阜県外に本社を有する企業からの寄附が対象となります。
- 1回当たり10万円以上の寄附が対象となります。
- 寄附の代償として経済的な利益(補助金の交付、低金利の貸付、入札の便宜など)を受け取ることは禁止されています。

岐阜県知事からのごあいさつ

岐阜県は、日本の中央に位置し、広大な山林や肥沃な農地、数多くの清流に恵まれ、世界に誇る伝統文化や食など魅力に溢れています。

しかし今、私たちを取り巻く環境は厳しさを増しています。国際紛争に端を発して食料やエネルギーの供給が不安定になっています。

また、国内では、少子高齢化が進み人手不足が深刻化する一方で、35万人もの子ども達が不登校になっています。

岐阜県では、これら日本社会が直面する諸課題にいち早く取り組み、日本が進むべき方向性を示したいと考えております。食料自給率の向上、環境に優しいエネルギーの生産、誰もが活躍できる社会を築くための「働いてもらい方改革」、子どもたちの生きる力を伸ばす「異学年集団による学び合い」など、新しい社会の仕組みづくりに果敢に挑戦してまいります。

こうした未来への取り組みにどうか皆様のお力をお貸しください。是非とも企業版ふるさと納税による支援ご協力をお願いいたします。



岐阜県知事

江崎 禎英

岐阜県が取り組む地方創生プロジェクト

「清流の国ぎふ」創生総合戦略(2023～2027年度)に位置づける事業が寄附の対象となります。その一例をご紹介します。



ワーク・ライフ・バランスの推進



働きながら子育てしやすい環境づくりを進めるため、従業員が仕事と家庭を両立できるよう支援したり、女性が活躍できるようにする取り組みを行うなど、他社の模範となる優れた取組みを行う企業の認定を目指す企業に対して、アドバイザー派遣などを実施します。

スポーツ振興を通じたまちづくり



スポーツは「する」だけでなく、「観る」「支える」など関わり方は様々です。より多くの方が関わることで、できるスポーツイベントや、スポーツ施設の整備等を支援することで、県民の皆さんがスポーツに参加する機会を増やし、スポーツに親しみ、心身ともに健康に暮らせるまちづくりを全県的に広げます。

地域防災力の強化・危機管理への対応力向上



南海トラフ地震が起きた場合の岐阜県の震度や、どのような被害が発生するかを想定するための調査を行い、避難方法などの防災対策を検討します。

また、地域の災害対応力を強化するため、数百名規模の関係者が参加する総合的な訓練などを行うほか、どのような季節でも住民が円滑に避難できるよう、自治会と協力して避難訓練を実施する市町村等を支援します。

清流の国ぎふ森林・環境基金を活用した事業



森林所有者では整備が困難な水源地域等の森林の整備(間伐)や、間伐等で生じる未利用材を木質バイオマス資源として活用するストーブ等の公共施設への導入を支援します。

また、ニホンジカやカワウ等による鳥獣害のない里山を作るため、追い払い・捕獲等を支援します。



ふるさと魅力体験事業



義務教育段階の児童生徒が、本県が誇る自然・歴史・文化・産業等に関する施設や史跡等で体験活動を行います。豊かな人間性を育むことを目的に、「ふるさと岐阜」の魅力学ぶ機会や、ふるさとの文化施設における優れた文化芸術に触れる機会を創出します。

■上記以外にも、様々な事業を行っています！

→ <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/15159.html>
(ページ内の「寄附重点事業のご紹介」をご覧ください)



お問い合わせ先 岐阜県 総合企画部 総合政策課 地方創生係
☎ 058-272-1840 (ダイヤルイン) 受付時間: 月～金/9時～17時

令和7年9月